



飛驒市・新港郷友好都市提携一周年記念事業 台湾新港郷と友好の絆深める

▶ 飛驒古川が紹介されている台湾の教科書



▲友好都市提携締結式の様子（平成29年10月13日）

飛驒市と新港郷は、平成6年に台湾の行政院文化建設委員会の日本視察団が偶然に飛驒古川を訪れたご縁がきっかけとなり、以降、新港郷のまちづくりに取り組んできた新港文教基金会と飛驒市観光協会、古川祭保存会との間で活発な民間交流が続けられてきました。

平成18年には、台湾の小学校4年生の国語の国定教科書に飛驒古川のまちづくりが紹介され、平成27年には、台湾の台中にて古川祭展覧会が開催され、現地で起し太鼓や獅子舞、子ども歌舞伎を実演するなど、多くの方に古川祭を知っていただくきっかけとなりました。

これらの交流が実を結び、平成29年10月13日に自治体レベルでの友好都市提携の締結に至りました。その後、「日台友好の酒プロジェクト」や「市内高校生のホームステイ」、「図書の本の交流」などの交流が行われています。

今回は、この友好都市提携締結の一周年を記念し、10月12日（金）から10月14日（日）の3日間にわたり、台湾新港郷の郷長はじめ総勢92名をお招きして、飛驒市・新港郷友好都市提携一周年記念事業（同事業実行委員会池田孝吉実行委員長）を開催しました。

10月12日(金)

古川町公民館

新港郷歓迎交流会



新港郷の皆さまと市民との交流を深めるため、古川町公民館で歓迎交流会を開催しました。

新港郷からは、林茂盛新港郷長や新港奉天宮の何達煌董事長、新港文教基金会の陳政鴻董事長をはじめとする訪問団の皆さま、市からは都竹市長や池田実行委員長など関係者、一般参加の市民らあわせ

て約160人が参加しました。

交流会では、池田実行委員長や都竹市長、林新港郷長らのあいさつの後、新港郷で育てた「ひだほまれ」と飛驒産「ひだほまれ」を使用した日台友好の酒「朋」で乾杯が行われました。

その後、若松さまの披露や記念品贈呈が行われ、市から

は、「飛驒春慶」のお盆を新港郷へ贈り、新港郷からは、台湾で海を守る女神として信仰を集める「媽祖」の置物や台湾の伝統工芸品である「交趾焼(色絵陶磁器)」など豪華な記念品が市へ贈られました。



▲交流会の様子

都竹市長は「新港郷の方々に飛驒市の魅力をたくさん知っていただき、お互いがお互いの文化を知る中でさらに友好の絆、心の絆が深まる3日間になりたい」とあいさつしました。

林新港郷長は「新港郷の文化や特色を飛驒市の皆さんに紹介するために、式典やイベントを開催してくださりありがとうございます。私たちも全力で新港郷の文化を披露します」と感謝を伝えました。



▶林新港郷長へ「飛驒春慶」のお盆を贈呈する都竹市長



▶陳董事長から「交趾焼」を受け取る都竹市長

10月13日(土)

■古川祭屋台 特別曳き揃え

古川祭保存会の協力のもと新港郷の皆さんに古川祭の屋台や獅子舞などをご覧いただくため、まつり広場において、「古川祭屋台特別曳き揃え」が行われました。会場に訪れた新港郷の皆さんや立ち寄った観光客らは、古川祭さながらの曳き揃えや闘鶏楽、からくり、獅子舞などを堪能しました。



▶屋台特別曳き揃えの様子

■台湾友好屋台村 & mamame party

文化交流センター交流広場において、台湾友好屋台村と題したバザーを行いました。台湾のグルメである小籠包やチマキが販売されたほ



▲交趾焼の体験をする子どもたち

当日は、同時開催として、飛驒最大級の親子向けのイベント「mama me party」が行われ、多くのお客さんで賑わいました。



▲陳世恵氏による書道パフォーマンス

か、新港郷の伝統工芸の交趾焼の体験、地元名産の新港鮎やお茶の試飲が行われました。また、同会場では、11時から、台湾で有名な書道家の陳世恵氏による書道パフォーマンスが披露され、古川祭保存会の駒侑記扶氏の笛の演奏に合わせて書き上げられました。



▲テープカットを行う関係者ら

飛驒市民の方々に新港郷の文化や飛驒市との交流の歴史を知ってもらおうと飛驒市美術館において、新港郷・飛驒市文化展覧会を10月28日まで開催しました。開館にあたり、林新港郷長、何新港奉天宮董事長、陳新港文郷基金会董事長、都竹市長、布俣県議会議員、高原飛驒市議会議員、四街祖媽



▲展覧会の会場

■新港郷・飛驒市文化展覧会



▲作品の説明をする呉卿氏



▲媽祖を奉る奉天宮の祭壇

（新港奉天宮の本堂に祭られる媽祖像の一つで由緒ある神像）によりテープカットを行い、開館を待っていた市民と一緒に媽祖が奉られている奉天宮の祭壇や、新港郷の芸術家である金細工の呉卿氏、交趾焼（色絵陶磁器）の陳忠正氏と謝東哲氏、木彫りの楊永在氏の作品など71点の伝統工芸品等をご覧いただきました。

飛驒市・新港郷友好都市提携一周年記念式典 飛驒市文化交流センター



同日が友好都市提携の一周年にあたることから、お互いの伝統文化を披露し、交流を更に深めるための式典を市文化交流センターで行いました。

オープニングアクトとして、さくら保育園の年長児による「獅子の舞」のお遊戯が披露され、その後、都竹市長、林新港郷長、陳新港文郷基金会董事長のあいさつの後、飛驒市からは、江戸木遣り保存会による「木遣り」と飛驒市消防団神岡方面隊梯子組による「梯子乗り」が披露されました。

新港郷からは、新港奉天宮の映像をバックにして、触れ太鼓「報馬仔」、樂舞「六侑舞」、獅子舞、道教の少年神「電音三太子」、媽祖の家来



▲六佯舞の披露

である「千里眼」、「順風耳」など色鮮やかで見えていても楽しい伝統芸能が披露されました。

その後、藤橋会による「飛騨能 藤橋」の上演や、本年8月に新港郷ホームステイに行き、現地で様々な交流をされた吉城高等学校・飛騨神岡高等学校の生徒によるホームステイの報告が行われました。



▲「木遣」と「梯子乗り」の披露

10月14日(日)

飛騨市内周遊ツアー

市内



▲ガッタンゴーを楽しむ林新港郷長ら



新港郷の皆さまに飛騨市の魅力を知ってもらおうと飛騨市内周遊ツアーを行いました。

ツアーでは、瀬戸川と白壁土蔵街や酒蔵、飛騨古川まつり会館などを巡る飛騨古川散策や、市文化交流センターにて飛騨市河合町歌舞伎保存会による「地歌舞伎」を観覧され、昼食の後、神岡町に



▲小雀獅子の披露

18時から、ハツ三館にて新港郷の皆さまと市関係者による送別会を行いました。送別会では、宮川町の北振若連中による獅子舞の披露や河合町の小雀獅子保存会によ

■新港郷送別会



▲新港郷と河合町歌舞伎保存会の皆さん

移動し、レールマウンテンバイクの体験、江馬氏館跡公園でお茶体験、宙ドーム神岡で買い物を楽しみました。

今回、友好都市提携一周年記念事業を実施し、多くの方々に新港郷を知っていただくきっかけになりました。20年以上続いているこの縁を今後につなげていくため、新港郷への学生ホームステイの支援をはじめとした市民間の交流を引き続き行っていくしますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

■まとめ



▲感謝を述べる林新港郷長

「小雀獅子」が披露され、大喝采が上がりました。

今回の記念事業を行ったことで飛騨市のおもてなしに感激され、林新港郷長は、「今後はぜひ飛騨市民の皆さまに新港郷へお越しいただきたい。飛騨市ほどのおもてなしはできないかもしれないが心で精一杯おもてなしをしたい」と述べられました。